

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第163号

令和元年8月30日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

青少年のための科学の祭典 2019 神奈川大会 特集号①

「青少年のための科学の祭典 2019 神奈川大会」が8月11日(日)に青少年センターで開催されました。

(主催：青少年センター、公益財団法人日本科学技術振興財団
共催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会)

出展団体 21、出展ブース 25 中協議会会員は 8 団体、11 ブース) 横浜は晴れが 1 週間続き、最高気温(発行日現在) 35.6℃を記録した猛暑日でしたが、開場前には約 200 名(昨年約 150 名)が並びました。開場後はお目当ての先着順受付のブースに急ぐ人がいたり、並んでいる人からも「これ何階ですか？」と尋ねられるなど、前もって調べてきた意欲的な来場者が多かったようです。

青少年センターの屋上とホール以外の使える場所を利用し、青少年センターが丸一日『科学の館』になりました。ただ、今年もお盆休み初めの日曜日と重なっていたため、来場者数は昨年比-18%の 490 名でした。



開場前の行列

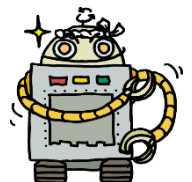


会場案内図 ★…当日先着予約制

- おもしろ科学ひろば。 特定非営利活動法人 おもしろ科学だんけん工業。
- 挑戦！君は自分で自分を持ち上げることができるか？ 特定非営利活動法人 神奈川県探検学習リーダー会。
- 平工電子遊園地 神奈川県立平工県立高等学校。
- 気球にできる面白いサイエンスショー 平塚市立神田中学校 科学部。
- ペーパーロケットグラフィックで花を咲かせよう！ WIDB 株式会社エスエフ社。
- ソーラーパワタを作ろう！太陽エネルギーと勝負！★ 工藤光輝電機ネットワーク(株)神奈川支部(株)V-net(株)神奈川。
- 金魚サイエンスキャラバン 2019 in 横浜 平塚市立金田中学校 科学部。
- 発電機をつくらう 自然科学に続いむ会。
- ハマ・カーリング 特定非営利活動法人 横浜朝陽倶楽部。
- ういでまわせるおもしろマシン(LIMOマシン)をつくらう！★ おもしろ実験・科学工作指導者セミナー終了生専部。
- 科学実験 SHOW 高校生科学ボランティア。
- アトム工房おもちゃ箱 かわさきアトム工場。
- 一火薬を使わない！新・雄雷花火を作ろう 鎌倉市火薬協会。
- 磁石を使ったキツツキ人形工作と、磁石の性質を見てみよう。 鎌倉市火薬協会。
- オーバルゼリヤード。
- 不思議な色の機織を作ろう。
- TRIZ の発明原理を知ろう。
- 飛行機の原理を学ぼう 公益社団法人 日本技術士会神奈川支部。
- アイロンビーズで紫外線をチェック★ 科学あそび隊。
- 360 度カメラとあそぼう！★ 株式会社 リコー。
- びんひょうごまをつくらう！ 高橋 佳弘。
- 箱根火山の立体模型をつくらう★ 神奈川県立東海大学研究所。
- かんたんチャレンジ！～「生命の起源かたるた」で学ぶアストロバイオロジーの世界～ ★(午後) 生命の起源かたるた制作チーム。
- アルミトワ 簀子からライダーが発明。みんなで再現してみよう！！ かながわサイエンスエキスパート。
- 電気・磁石の不思議をさぐる！(電磁石を作ってみよう) 経業 〓 巨無黒クラブ。

来場者は減りましたが、子どもたちの熱気や楽しそうにあちこちを回り体験している姿は、これまでの科学の祭典と同じです。

科学の祭典は出展者の皆様の多大な協力とともに、無償のアシスタントにも支えられています。今年は、大学生インターンシップ 7 名、高校生インターンシップ 9 名、高校生科学ボランティア 20 名、教員社会体験研修 6 名に協力していただきました。



神奈川県新聞に掲載されました！



協議会会員の神奈川県新聞社が一日中取材に来てくださり、8月12日に記事が掲載されました。

写真は高校生ボランティアによる「科学実験 SHOW」です。元々科学が好きとか科学系の部活に入っているというわけではなく、子どもたちのためにできることをしたいと集まった高校生です。何度も何度もリハーサルを繰り返した甲斐がありました。

好評！！ 実験解説集

実験解説集は、『どんな（実験・工作・観察）なの？』『（実験・工作・観察）のしかたとコツ』『気をつけよう』『もっとくわしく知るために』の4項目について、ブースごとに1ページにまとめた説明を冊子にしたものです。「これが楽しみ」「欲しかった」と言う声を聞くほど、毎年好評です。

会場で楽しむだけでなく、家に帰ってからもやってみたり、詳しく調べたりできるようにして、科学への興味・関心をその時だけに終わらせないお土産です。また、他の実験や工作をじっくり見たり体験することができない出展者からも、欲しいという声があります。



科学の祭典全国大会や他の都道府県大会の科学の祭典でも同様の実験解説集を配付しています（有償の場合もあります）。全国大会の実験解説集は前年度のものはホームページからダウンロードできます。

実験や工作に歓声

科学の祭典、親子連れら列

子どもたちに「おもしろ科学たんけん工房」に親しんで、科学に親しんで、科学の祭典が11日、横浜市西区の県立青少年センターで開かれた。太陽エネルギーや磁力、電気、物理、化学など多彩なテーマで実験・工作ブースを開き、子どもたちは驚きの体験に歓声を上げていた。祭典は、同センターと日本科学技術振興財団の主催。県温帯地学研究所が箱根の立体模型作り、NPO



水の表面張力と空気圧の実験に挑戦する子どもたち。県立青少年センター。熊谷 和志

00人が参加した。「理科が大好きなので楽しみにしてきた」という同市立汐見台小4年、橘川各ブースに次々と挑戦した。磁石を利用し、くちはしが木をたたくキツツキ人の形の工作では「磁石の導電性を導いて動く」と、反発したり、くつついたりして面白い」と磁石の不思議に魅了された様子だった。

開場直後の受付の列
受付で実験解説集を配付しています



人数制限ありのブースには
あつという間に行列ができました



協議会会員ダイジェスト(科学ボランティア団体)

神奈川県環境学習リーダー会



おもしろ科学たんけん工房



かわさきアトム工房



日本技術師会神奈川県支部



紅葉ヶ丘無線クラブ



事務局から

次号は「青少年のための科学の祭典2019神奈川大会」の出展ブースを特集します。
(事務局: 千葉、伴、熊切、山田)